



北九州 PCB 廃棄物処理事業だより (No.5)

平成30年11月号

■ 事業所見学バスツアーを開催しました。

市民のみなさまに、PCB 処理事業が安全に行われていることをご理解いただくため10月13日(土)に、JESCO 主催のバスツアーを開催致しました。このバスツアーは平成28年から毎年開催しており、今回で3回目を迎えます。

今回は、より多くの方々に参加をいただくため、土曜日開催とし、PCB 処理事業所のほか、エネルギーの総合学習施設である北九州次世代エネルギーパークを見学コースに含めました。

当日は48名の方にご参加いただき、午前中は北九州次世代エネルギーパークにおいて風力発電・太陽光発電施設を見学し、午後はPCB 処理事業所においてPCB 処理に関する紹介動画を見ていただき、見学通路から処理現場内を見学していただきました。

参加された方々からは「PCBの処理方法がよく分かった」、「安全第一で操業しており安心した」との感想をいただきました。

今後もJESCOとしてはPCB処理について安全操業を徹底し、みなさまの安心が得られるよう万全を期してまいります。



■ 更なる処理促進に向けて～廃安定器の仕分けの徹底・促進について

PCB 廃棄物として保管されている廃安定器の中には、PCB を使用していない廃安定器等（当事業所で処理しなくてもよいもの）が混在している場合が少なからずあります。

過去に廃安定器が保管されている現場で実施された仕分け作業（PCB を使用していない廃安定器の分別、コンデンサー外付け型安定器からPCB を使用しているコンデンサー部分の取り外し）の実績では重量として平均約3割が減量したという結果が得られています。

分別等の作業を実施することは、廃安定器の処理量を減らし、更なる処理促進が期待でき、結果的に早期の処理完了に繋がることから、当事業所でもプラズマ炉投入前に、安全に留意しながら分別等の作業を実施しています。



事業所内での仕分けの様子

■平成30年度（第1回）PCB廃棄物処理事業検討委員会を開催しました。

10月17日（水）、JESCOにおいて「平成30年度（第1回）PCB廃棄物処理事業検討委員会（学識経験者等で構成）」を開催しました。

委員会では、早期の処理完了に向けた審議を行い、「変圧器・コンデンサー」の処理期限が迫る北九州事業エリアにおいては、その処理が順調に進んでいることが確認されておりますが、PCB処理について期限内に1日も早く処理を完結させるという地元のみなさまとの約束を果たすため、今後も引き続き、安全操業を最優先にPCB処理事業を推進して参ります。

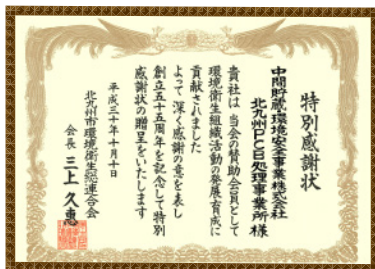


委員会冒頭で挨拶する小林正明社長

■第55回北九州市環境衛生大会で特別感謝状をいただきました。

当事業所では、北九州市のまち美化キャンペーンの一環としての「岩屋海岸清掃」に参加したり、赤十字の献血活動に事業所として協力するなどの日頃の活動が評価され、10月10日に開催されました「第55回北九州市環境衛生大会」において、特別感謝状が授与されました。

当事業所では、今年も11月6日に献血活動を実施し、49名の従業員が献血に協力致しました。



特別感謝状



献血車内の様子



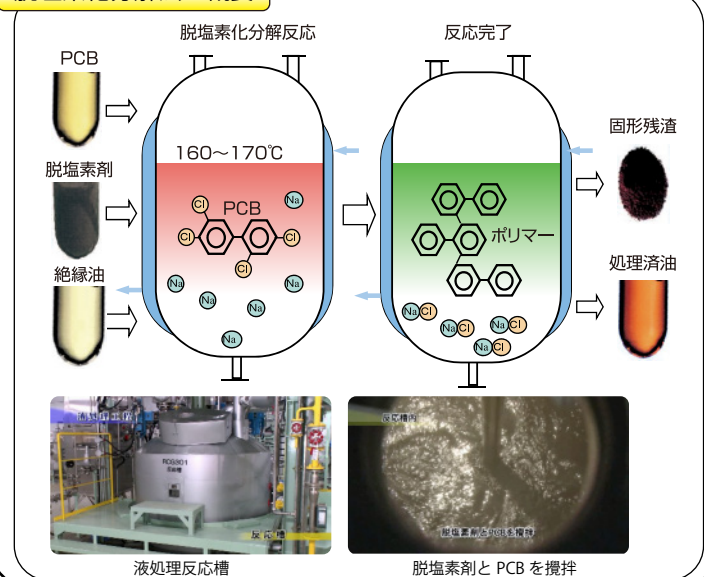
事業所玄関前の献血車

■事業所あれこれ紹介

～液処理（脱塩素化分解法）～

PCB油を無害化処理する為には、脱塩素剤（金属ナトリウムの微粒子を鉱物油に混ぜたもの）にPCB油を一定の濃度を保ちながら投入し攪拌することで、化学反応によって無害なビフェニルの重合体と食塩を生成します。（脱塩素化分解法）この脱塩素化分解が安全確実に終了したことを確認後、遠心分離機により処理済油と固形物に分離させ、安全が確認された後に、再利用・再資源化されます。

脱塩素化分解法の概要



【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO） 北九州 PCB 処理事業所

【所在地】 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町1丁目62-24

【連絡先】 ☎ 093-752-1113 [HP] <http://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/>

アザラシの「ぴーちゃん」

